THE KŌHŌ NANKOKU
広報ナンコク
編集発行　南国市広報委員会　高知県南国市東崎1335 ☎2.111　川北印刷KK ☎379
昭和48年5月15日　第43号　（1）

豆辞典

南国市青少年
補導センター
△青少年の非行化を街頭補導などにより防止している。
△とくに子供たちのことにつき、いろいろ相談に応じ秘密は守られる。
後免町中町公民館内　電話 2504

市の動態

人口 43,360人（男 20,949人 女 22,411人）
世帯数 10,906戸

本庁	5,798戸	22,178人
三和	2,194戸	9,319人
稲生	1,459戸	4,900人
岡豊	905戸	3,350人
十市	707戸	2,890人

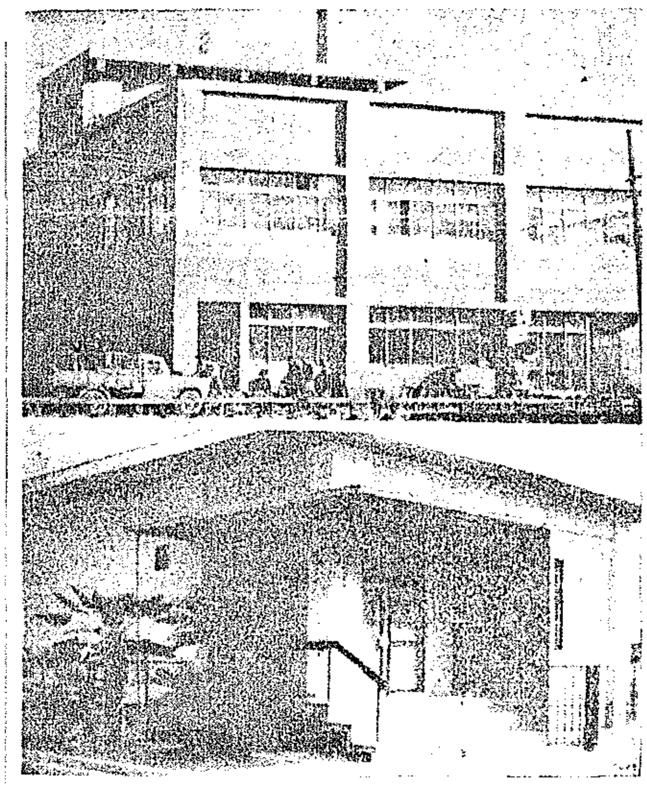
待望の電話自動化！
高知へは即時、はかり知れない効果

南国電報電話局は六十余年の手動式に別かれを告げ、さる十四日自動化された。同時に日章、稲生、前浜、十市局をも合併した。このため高知市へは即時、土佐宇佐、春野、戸波局は手動即時となり、はかり知れない効果を上げている。

自動化により電話番号は、南国と日章が二〇〇〇番台に、稲生と十市、前浜は八〇〇〇番台になった。（新しい番号がわからないときには、局の一〇五番へ）南国から高知へかける場合はまず〇八八を回わし、次に相手の番号を回す。また高知から南国へかける場合は、〇八八八六番を回し、相手の番号を回す。

南国からの手動即時は、〇八を回し自分の番号と相手の番を告げ、受話器を耳に当てて待つ。その他の待時通話は、〇六番を回し、いままでどうりの方法で申し込む仕組み。

なお局舎の新築と付帯工事に約四億円投じられた。



写真は新装の局舎（上）と稲生、十市、前浜を統合した無人の片山従局（三和）

ここにも機械化が

葉タバコの定植を機械化し、従来の三分の一たらずの時間で仕上がる方法が県農試で考案され、農家に喜びをもたらすこととなった。耕耘機に簡単な円盤状の土寄せ機を付けて作業するもので、先月の定植の十日ごろに、市内永田で実演した。（写真は土寄せ機を付けたところ）

灰捨て場みつかる
……むかし……
岡豊でも土器を焼く？

この春、岡豊町東谷でミカン畑用の貯水池をつくるため、山すその田を掘ったところ、焼け土やサラなどが出土した。

岡本県文化財調査専門委員は出土品を鑑定の結果、千二、三百年のもので、現場はカマ跡というよりも、灰捨て場と見るのがよく、カマは付近の山すそに埋蔵されている可能性があるといっている。

この土地は同町笠ノ川、農業、吉川久幸さんが持っていた。

三方山に囲まれ、行き詰めの上段の田が問題のところ。

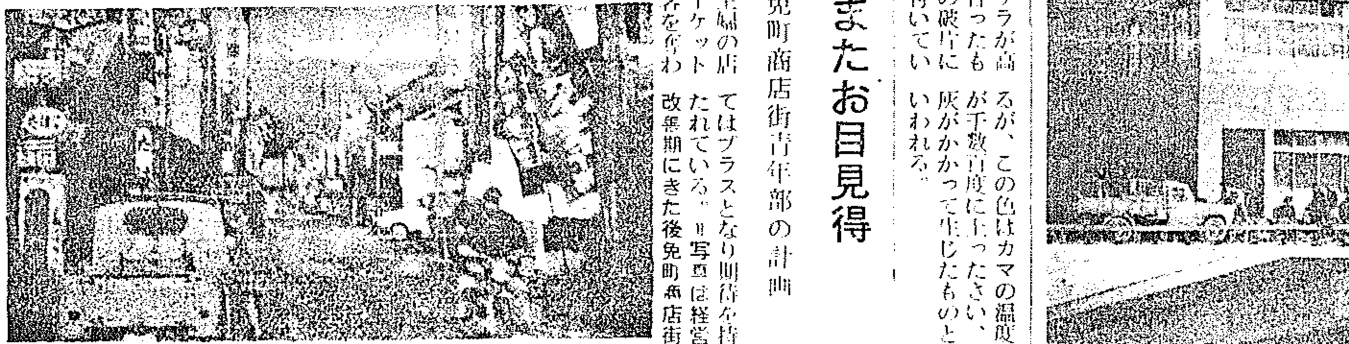
地表下約一メートルのところが相当広い範囲で土が焼け、サラのほか破片が無数に出、中には土とサラが高熱のためくっつき合ったものもあり、これらの破片には、薄緑や空色が付いていいるが、この色はカマの温度が千数百度に上ったさい、灰がかかって生じたものといわれる。

スーパーマーケットまたお目見得
後免町商店街青年部の計画

後免町商店街は、主婦の店系統のスーパーマーケットの出現や高知市へ客を奪われるため、最近とくに不振を伝えられ、経営改善の必要がうわさされていたが、商店街青年部が対策の一つとしてスーパーマーケットの経営に乗り出すこととなった。

これは高知スーパーとの提携によるもので、資本金九百万円で電車通りの「日の出座」を利用し、七月上旬から開店の予定で、改装にかかっている。

新設マーケットは既設マーケットとの競合になるわけで、消費者に取ってはプラスとなり期待を持たれている。（写真は経営改善期にきた後免町商店街）



猪野小跡にキャンプ場

県教育委員会は、上倉地区猪野沢の小学校跡をキャンプ場にする計画をたて、このほど同教委保健体育課の文野係長らと市教委の係員が現地を視察、適地であることを確認した。

同所は山の中腹に当たり、面積約一反歩、大きい石を城壁のように築いて造成されており、一面にカヤが生えている。

また人造石の門柱やサクラの古木もあって、ありし日の風情をしのばせ、遠くの海岸地帯を展望できる。

コースは高知市を起点に、尾根伝いの道をとおる方針のようだ。（写真は猪野小の跡地と城壁のような石垣）

お願いを入れ組合議会で検討
合同セキ問題

難航する合同セキ問題解決のため、さきに浦川市長と井上議長は、山田セキ土功組合ならびに土地改良区設立世話人にあっせん案を示していたが、組合側は時期尚早として一応断わり、世話人側は全面的に受け入れた。

その後（二日）組合側と関係地区の土佐山田、介良両町村長、浦川市長、井上議長らが協議した結果、あっせん者側の"お願い"を組合側が入れ「五月中に組合議会に、土地改良区をつくるかどうか」を決めてもらうこととなった。

香南中の"南風"最優秀賞

香南中学は開校以来、文芸誌「南風」を連続的に発行し、ことしで第十七号の歴史を有している。

このほど行なわれた第一回県下小、中学校文集コンクールにおいて、数多い出品校の中からベスト五傑の中に選ばれ、伝統ある同校の「南風」が輝く表彰を受けた。

五傑
◇中学の部
南風（香南中）、道（学芸中）
◇小学の部
テレビとう（五台山小）、南の子（伊野南小）、砂の船（三里小）

事務の合理化はかる
改善委員会設けて　市役所

市役所内に一日から、事務改善委員会が設けられた。委員は市長ら特別職、各課長、議会、選管、農委の事務局長、福祉事務所長のほか、総務課、総務、人事、財政係長の二十五人。今後市長の諮問機関として市役所ならびに関係部局の機構、職員の配置などを研究して合理化を図ることになっている。

なお現在の機構と職員配置は、適正を欠く面がかなりあり、こころある市民はこの点を指摘している。

市の人事異動

市では、一日付で四十一人の人事異動を発令した。こんどの異動は、新設された評価室の設置に重点がおかれ、各課から一〜二名、保母三名を引き上げ、新採用は行なわなかった。そのため、従前にくらべ事務負担が重くなった。

また、若手を起用し事務刷新をはかっている。

（課長）税務課長二宮博男（出納室長）、市民課長、田岡信雄（総務課庶務係長）、評価室長兼土地係長（田岡高行（評価係長））

（係長）＝出納室長、溝淵原巳（産経課農振係長）、（総務課）＝庶務係長、上居正俊（産経課農業構造改善係長）、消防係長、川田正雄（福祉事務所主事）、（税務課）＝徴収係長、浜口正義（同課主事）、（市民課）＝厚生係長、井上新一（税務課徴収係長）、（産経課）＝農業構造改善係長竹村道則（同課主事）、農振係長、北村泰博（同課商工水産係長）、商工水産係長、岩原高米（岡豊支所長）、岡豊支所長、橋村重春（総務課消防係長）、三和支所長、上居彦馬（市民課長）、評価家屋係長、岡林泰弘（評価室主事）

（主事）＝（総務課）＝沢本英世（評価室）、村田耕一（建設課）、（税務課）＝吉永明（産経課）、島田徳江（出納室）、杉本礼子（南海分校）、（市民課）＝坂本君江（稲石支所）、岡本花実（保険衛生課）、（保険衛生課）＝大久保千鶴（税務課）、野島久男（評価室）、（産経課）＝池本整爾（選管事務局）、川端柳造（総務課）、元吉万寿子（保険衛生課）、（建設課）＝上村朝英（産経課）、福祉事務所、徳橋喜世久、（保険衛生課）、松本幸雄（税務課）、森田光子（保育所）（評価室）＝武市哲紫（福祉事務所）、猪野正義（同）井上克幸（三和支所長）、松岡竜男（市民課）、植野求（同）、菊谷志郎（教委事務局）、北村恵（市民課）、村上直子（保育所）、（出納室）＝橋田祐子（建設課）、（選管事務局）＝前田福与（福祉事務所）、（農委事務局）＝斉藤泰子（保育所）

団長に島内君
南国市連合青年団

青年団共励会や、体育大会青年学級の開設等、青年の体育向上や研修に活動を続けて来た南国市連合青年団では、このほど、定期総会を開催、次の通り新年度の役員を選出した。

団長　島内　征　物部
副団長　神田　博　浜改田
〃　森田富美子　後免
会計　中村竣　浜改田

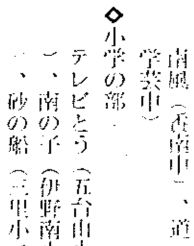
大工賃　千三百円

市の建築組合では、四月一日から大工賃を千三百円にした。

なお、工作機械を使用した場合は、従来どうり三百円の割り増しとなっている。

森国さんの頌徳碑

十市漁業協同組合長、森国勇吉さん（六七）の頌徳碑は、このほど組合員の手で組合事務所の庭に建てられた。

工費三十五万円は、ほとんど取り引き先の寄付でまかなわれ、碑の高さは台座とも約三メートル。

森国さんは大正十五年、組合長に就任、現在に至ったが、この間、漁業拡興、副業、生活改善に努めたもの。（写真は森国さんの頌徳碑）